

平成30年新年のごあいさつ



明けましておめでとうございます。

皆様方には、ご家族共々輝かしい新春をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

また、平素から地域における交通安全活動に多大なるご尽力を頂くとともに、当協会の諸活動に深いご理解、ご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

さて、昨年中の県内交通事故情勢につきましては、発生件数、負傷者数は減少したものの、死者数にあつては、「知事声明」に伴い、皆様をはじめ、関係機関・団体が一体となって抑止対策を推進しましたが、8月・9月中の激増があったことから前年比5名の増加となってしまいました。

特に、死者数の過半数を高齢者が占めていることや、高齢者が加害者となる事故も増加傾向にあることに変わりなく、本年においても高齢者を対象とした効果的な交通事故防止対策が急務であると考えております。

こうした中、私共交通安全協会と致しましては、女性部を中心とした「高齢者宅家庭訪問」によるワンポイントアドバイス活動をはじめ、「足元に生命の発信運動」として、歩行者の履き物に反射材を貼る啓発活動や小学生に対する交通安全教室、また、運転適性検査機等を搭載した「ふれあい号」による出前式交通安全教室等、それぞれの年代に応じた各種交通安全教室を推進しているところであります。

本年におきましても、悲惨な交通事故を一件でも減少させるため、高齢者はもとより、すべての県民を対象とした各種交通事故防止対策を積極的に推進し、安全で安心して生活できる地域社会の実現に向けての活動を継続してまいります所存でございます。

関係者各位の更なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、迎えた平成30年が皆様方にとりまして幸多い年でありますよう、心からご祈念申し上げまして、新年のごあいさつと致します。

平成30年1月

公益財団法人群馬県交通安全協会

理事長 町田 錦一郎